

IC A の 対 韓 援 助 に 関 する 件

35 . 10 . 22

貴電第2559号に関し

冒頭貴電とほぼ同様趣旨を6月22日在日USOMの団長Treziase公使から当方の意向を打診越したので、わが方としては韓国人研修生の受入れは日韓関係改善上極めて有意義と考え極力推進したいと回答し、具体的な受入れ計画は韓国側計画の固まり次第個々に検討の上受入れることとなっている。当地USOM側の情報によると本年度末までに150名ないし300名を日本へ派遣したいとの希望であつたが、現在のところはまだ3名が来日したのみで、今後の見込についても何ら確報がない。USOM側では韓国内政情が落ち着かず経済開発計画の進展が手間取つているためであるともらしている。

貴使御参考まで。

(了)

保長

秘密指定解除

公文書監理室

秘
封

電信写

総第	23141	号	昭和35年10月22日19時00分発
階	第	2141	号 (DEF) 主管 藤田 敏
大臣	(協議)	藍長	北
政務次官		宇山 敏	
事務次官		北	
外務審議官		藤田	
官房長	(回覧)		
在	大 使	宛	小 板 大臣宛
電 報	在		宛
件 名	I C A O 規程改訂に關する件		
(以下別紙)			